

誤	正	該当頁	備考																																																																																
<p>2-4-3 アスファルト舗装の材料</p> <p>空港アスファルト舗装工で使用する材料は、2-4-2「コンクリート舗装の材料」(P 2-37) 及び以下の規定による。</p> <p>1. 下層路盤</p> <p>下層路盤に使用する材料は、2-4-2「コンクリート舗装の材料」4.(P 2-39) を適用する。ただし、下層路盤材料の品質規定は表 2-23 による。</p> <p style="text-align: center;">表 2-23 下層路盤材料の品質規定</p> <table border="1" data-bbox="311 569 1101 758"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">試験方法</th> <th colspan="3">規定</th> </tr> <tr> <th>タイプ A</th> <th>タイプ B</th> <th>タイプ C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>425μm ふるい通過分の塑性指数 (PI)</td> <td>JIS A 1205</td> <td>6 以下</td> <td>6 以下</td> <td>10 以下</td> </tr> <tr> <td>仕様密度における修正 CBR (%)</td> <td>舗装調査・試験法便覧</td> <td>30 以上</td> <td>20 以上</td> <td>10 以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>タイプ A : 「空港舗装設計要領」に示す設計荷重の区分のうち LA-1、LA-12、LA-2、LA-3 の下層路盤の上部に使用する。</p> <p>タイプ B : タイプ A 以外の通常の下層路盤に使用する。</p> <p>タイプ C : 下層路盤が厚くなる場合、下層路盤の下部に使用する。</p> <p>4. アスファルト安定処理路盤</p> <p>安定処理路盤は、2-4-2「コンクリート舗装の材料」7.(P 2-44) を適用する。ただし、加熱アスファルト安定処理混合物の基準値は、表 2-25 に適合しなければならない。</p> <p style="text-align: center;">表 2-25 マーシャル試験に対する基準値</p> <table border="1" data-bbox="353 1297 1059 1520"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">基本 施設</th> <th rowspan="2">道路及び 駐車場</th> </tr> <tr> <th>タイプ A</th> <th>タイプ B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>突固め回数 (回)</td> <td>両面各 75</td> <td>両面各 50</td> <td>両面各 50</td> </tr> <tr> <td>安定度 (KN)</td> <td>4.90 以上</td> <td>3.45 以上</td> <td>3.45 以上</td> </tr> <tr> <td>フロー値 (1/100cm)</td> <td>20~40</td> <td>20~40</td> <td>10~40</td> </tr> <tr> <td>空隙率 (%)</td> <td>3~8</td> <td>3~8</td> <td>3~12</td> </tr> </tbody> </table> <p>アスファルト安定処理混合物の品質は、設計図書の定めによる。</p> <p>また、マーシャル安定度の試験方法は、舗装調査・試験法便覧のマーシャル安定度試験方法による。</p> <p>タイプ A : 「空港舗装設計要領」の設計荷重の区分が LA-1、LA-12、LA-2、LA-3、LA-4 の場合に適用する。</p> <p>タイプ B : 同様に設計荷重の区分が LSA-1、LSA-2、LT-1、LT-12、LT-2 の場合に適用する。</p>	項目	試験方法	規定			タイプ A	タイプ B	タイプ C	425 μ m ふるい通過分の塑性指数 (PI)	JIS A 1205	6 以下	6 以下	10 以下	仕様密度における修正 CBR (%)	舗装調査・試験法便覧	30 以上	20 以上	10 以上	項目	基本 施設		道路及び 駐車場	タイプ A	タイプ B	突固め回数 (回)	両面各 75	両面各 50	両面各 50	安定度 (KN)	4.90 以上	3.45 以上	3.45 以上	フロー値 (1/100cm)	20~40	20~40	10~40	空隙率 (%)	3~8	3~8	3~12	<p>2-4-3 アスファルト舗装の材料</p> <p>空港アスファルト舗装工で使用する材料は、2-4-2「コンクリート舗装の材料」(P 2-37) 及び以下の規定による。</p> <p>1. 下層路盤</p> <p>下層路盤に使用する材料は、2-4-2「コンクリート舗装の材料」4.(P 2-39) を適用する。ただし、下層路盤材料の品質規定は表 2-23 による。</p> <p style="text-align: center;">表 2-23 下層路盤材料の品質規定</p> <table border="1" data-bbox="1510 569 2300 758"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">試験方法</th> <th colspan="3">規定</th> </tr> <tr> <th>タイプ A</th> <th>タイプ B</th> <th>タイプ C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>425μm ふるい通過分の塑性指数 (PI)</td> <td>JIS A 1205</td> <td>6 以下</td> <td>6 以下</td> <td>10 以下</td> </tr> <tr> <td>仕様密度における修正 CBR (%)</td> <td>舗装調査・試験法便覧</td> <td>30 以上</td> <td>20 以上</td> <td>10 以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>タイプ A : 「空港土木施設設計要領 (舗装設計編)」に示す設計荷重の区分のうち LA-1、LA-12、LA-2、LA-3 の下層路盤の上部に使用する。</p> <p>タイプ B : タイプ A 以外の通常の下層路盤に使用する。</p> <p>タイプ C : 下層路盤が厚くなる場合、下層路盤の下部に使用する。</p> <p>4. アスファルト安定処理路盤</p> <p>安定処理路盤は、2-4-2「コンクリート舗装の材料」7.(P 2-44) を適用する。ただし、加熱アスファルト安定処理混合物の基準値は、表 2-25 に適合しなければならない。</p> <p style="text-align: center;">表 2-25 マーシャル試験に対する基準値</p> <table border="1" data-bbox="1552 1297 2258 1520"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">基本 施設</th> <th rowspan="2">道路及び 駐車場</th> </tr> <tr> <th>タイプ A</th> <th>タイプ B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>突固め回数 (回)</td> <td>両面各 75</td> <td>両面各 50</td> <td>両面各 50</td> </tr> <tr> <td>安定度 (KN)</td> <td>4.90 以上</td> <td>3.45 以上</td> <td>3.45 以上</td> </tr> <tr> <td>フロー値 (1/100cm)</td> <td>20~40</td> <td>20~40</td> <td>10~40</td> </tr> <tr> <td>空隙率 (%)</td> <td>3~8</td> <td>3~8</td> <td>3~12</td> </tr> </tbody> </table> <p>アスファルト安定処理混合物の品質は、設計図書の定めによる。</p> <p>また、マーシャル安定度の試験方法は、舗装調査・試験法便覧のマーシャル安定度試験方法による。</p> <p>タイプ A : 「空港土木施設設計要領 (舗装設計編)」の設計荷重の区分が LA-1、LA-12、LA-2、LA-3、LA-4 の場合に適用する。</p> <p>タイプ B : 同様に設計荷重の区分が LSA-1、LSA-2、LT-1、LT-12、LT-2 の場合に適用する。</p>	項目	試験方法	規定			タイプ A	タイプ B	タイプ C	425 μ m ふるい通過分の塑性指数 (PI)	JIS A 1205	6 以下	6 以下	10 以下	仕様密度における修正 CBR (%)	舗装調査・試験法便覧	30 以上	20 以上	10 以上	項目	基本 施設		道路及び 駐車場	タイプ A	タイプ B	突固め回数 (回)	両面各 75	両面各 50	両面各 50	安定度 (KN)	4.90 以上	3.45 以上	3.45 以上	フロー値 (1/100cm)	20~40	20~40	10~40	空隙率 (%)	3~8	3~8	3~12	<p>2-59</p>	<p>基準名称変更に伴う修正</p>
項目			試験方法	規定																																																																															
	タイプ A	タイプ B		タイプ C																																																																															
425 μ m ふるい通過分の塑性指数 (PI)	JIS A 1205	6 以下	6 以下	10 以下																																																																															
仕様密度における修正 CBR (%)	舗装調査・試験法便覧	30 以上	20 以上	10 以上																																																																															
項目	基本 施設		道路及び 駐車場																																																																																
	タイプ A	タイプ B																																																																																	
突固め回数 (回)	両面各 75	両面各 50	両面各 50																																																																																
安定度 (KN)	4.90 以上	3.45 以上	3.45 以上																																																																																
フロー値 (1/100cm)	20~40	20~40	10~40																																																																																
空隙率 (%)	3~8	3~8	3~12																																																																																
項目	試験方法	規定																																																																																	
		タイプ A	タイプ B	タイプ C																																																																															
425 μ m ふるい通過分の塑性指数 (PI)	JIS A 1205	6 以下	6 以下	10 以下																																																																															
仕様密度における修正 CBR (%)	舗装調査・試験法便覧	30 以上	20 以上	10 以上																																																																															
項目	基本 施設		道路及び 駐車場																																																																																
	タイプ A	タイプ B																																																																																	
突固め回数 (回)	両面各 75	両面各 50	両面各 50																																																																																
安定度 (KN)	4.90 以上	3.45 以上	3.45 以上																																																																																
フロー値 (1/100cm)	20~40	20~40	10~40																																																																																
空隙率 (%)	3~8	3~8	3~12																																																																																
		<p>2-60</p>	<p>基準名称変更に伴う修正</p>																																																																																

誤	正	該当頁	備考																																																																																																																																																				
<p>9. 加熱アスファルト混合物</p> <p>1) 使用する骨材の粒度は、表 2-32 の規定による。なお、表層の用途区分は、設計図書の定めによる。</p> <p style="text-align: center;">表 2-32 骨材の粒度</p> <table border="1" data-bbox="222 388 1202 934"> <thead> <tr> <th rowspan="2">用途区分</th> <th colspan="3">基本施設の表層</th> <th colspan="2">道路駐車場の表層</th> <th rowspan="2">基 層</th> </tr> <tr> <th>タイプ I</th> <th>タイプ II</th> <th>タイプ I</th> <th>タイプ II</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大粒径</td> <td>20</td> <td>13</td> <td>13F</td> <td>13</td> <td>13F</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">通過質量百分率(%)</td> <td>26.5mm</td> <td>100</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>19.0 mm</td> <td>95~100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>95~100</td> </tr> <tr> <td>13.2 mm</td> <td>75~90</td> <td>95~100</td> <td>95~100</td> <td>95~100</td> <td>70~90</td> </tr> <tr> <td>4.75 mm</td> <td>45~65</td> <td>55~70</td> <td>45~65</td> <td>55~70</td> <td>35~55</td> </tr> <tr> <td>2.36 mm</td> <td>35~50</td> <td>35~50</td> <td>30~45</td> <td>35~50</td> <td>20~35</td> </tr> <tr> <td>600 μm</td> <td>18~30</td> <td>18~30</td> <td>25~40</td> <td>18~30</td> <td>25~45</td> </tr> <tr> <td>300 μm</td> <td>10~21</td> <td>10~21</td> <td>20~40</td> <td>10~21</td> <td>16~33</td> </tr> <tr> <td>150 μm</td> <td>6~16</td> <td>6~16</td> <td>10~25</td> <td>6~16</td> <td>8~21</td> </tr> <tr> <td>75 μm</td> <td>4~8</td> <td>4~8</td> <td>8~12</td> <td>4~8</td> <td>6~11</td> <td>2~7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 骨材の最大粒径は、表層の場合は 1 層の仕上がり厚さの 1 /2.5 以下、基層の場合は 1 /1.5 以下とする。</p> <p>2-4-8 グルーピング工</p> <p>1) グルーピングの形状及び施工範囲は、設計図書の定めによる。</p> <p>2) 受注者は、グルーピングに先立ち舗装面に異状を発見したときは、監督職員に報告しなければならない。</p> <p>3) グルーピングは、湿式又は乾式により施工するものとし、グルーピングに使用する水は、油、酸、塩類やその他の有害物を含んではならない。</p> <p>4) クリアランス</p> <p>(1) 受注者は、灯器がある場合、30 cmのクリアランスを保持して施工しなければならない。</p> <p>(2) 受注者は、灯火用ケーブルがある場合、15 cmのクリアランスを保持して施工しなければならない。</p> <p>(3) 受注者は、コンクリート舗装の膨張目地、横収縮目地等がある場合、15 cmのクリアランスを保持して施工しなければならない。</p> <p>5) 受注者は、施工中連続して清掃を行わなければならない。また、滑走路の供用開始前に、監督職員に報告し、清掃完了の確認を受けなければならない。</p> <p>6) グルーピングの切削かすの処理は、設計図書の定めによる。</p> <p>7) 工事後にグルーピングを施工する場合には、表層のアスファルト混合物を施工してから 2 ヶ月以上経過した後に行う必要がある。ただし、表層に改質アスファルト混合物を用いる場合には、施工してから 1 ヶ月以上経過した後にグルーピングを施工することができる。</p>	用途区分	基本施設の表層			道路駐車場の表層		基 層	タイプ I	タイプ II	タイプ I	タイプ II	最大粒径	20	13	13F	13	13F	20	通過質量百分率(%)	26.5mm	100	—	—	—	100	19.0 mm	95~100	100	100	100	95~100	13.2 mm	75~90	95~100	95~100	95~100	70~90	4.75 mm	45~65	55~70	45~65	55~70	35~55	2.36 mm	35~50	35~50	30~45	35~50	20~35	600 μm	18~30	18~30	25~40	18~30	25~45	300 μm	10~21	10~21	20~40	10~21	16~33	150 μm	6~16	6~16	10~25	6~16	8~21	75 μm	4~8	4~8	8~12	4~8	6~11	2~7	<p>9. 加熱アスファルト混合物</p> <p>1) 使用する骨材の粒度は、表 2-32 の規定による。なお、表層の用途区分は、設計図書の定めによる。</p> <p style="text-align: center;">表 2-32 骨材の粒度</p> <table border="1" data-bbox="1424 388 2404 934"> <thead> <tr> <th rowspan="2">用途区分</th> <th colspan="3">基本施設の表層</th> <th colspan="2">道路駐車場の表層</th> <th rowspan="2">基 層</th> </tr> <tr> <th>タイプ I</th> <th>タイプ II</th> <th>タイプ I</th> <th>タイプ II</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大粒径</td> <td>20</td> <td>13</td> <td>13F</td> <td>13</td> <td>13F</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">通過質量百分率(%)</td> <td>26.5mm</td> <td>100</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>19.0 mm</td> <td>95~100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>95~100</td> </tr> <tr> <td>13.2 mm</td> <td>75~90</td> <td>95~100</td> <td>95~100</td> <td>95~100</td> <td>70~90</td> </tr> <tr> <td>4.75 mm</td> <td>45~65</td> <td>55~70</td> <td>45~65</td> <td>55~70</td> <td>35~55</td> </tr> <tr> <td>2.36 mm</td> <td>35~50</td> <td>35~50</td> <td>30~45</td> <td>35~50</td> <td>20~35</td> </tr> <tr> <td>600 μm</td> <td>18~30</td> <td>18~30</td> <td>25~40</td> <td>18~30</td> <td>25~45</td> </tr> <tr> <td>300 μm</td> <td>10~21</td> <td>10~21</td> <td>20~40</td> <td>10~21</td> <td>16~33</td> </tr> <tr> <td>150 μm</td> <td>6~16</td> <td>6~16</td> <td>10~25</td> <td>6~16</td> <td>8~21</td> </tr> <tr> <td>75 μm</td> <td>4~8</td> <td>4~8</td> <td>8~12</td> <td>4~8</td> <td>6~11</td> <td>2~7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 骨材の最大粒径は、表層の場合は 1 層の仕上がり厚さの 1 /2.5 以下、基層の場合は 1 /2.0 以下とする。</p> <p>2-4-8 グルーピング工</p> <p>1) グルーピングの形状及び施工範囲は、設計図書の定めによる。</p> <p>2) 受注者は、グルーピングに先立ち舗装面に異状を発見したときは、監督職員に報告しなければならない。</p> <p>3) グルーピングは、湿式又は乾式により施工するものとし、グルーピングに使用する水は、油、酸、塩類やその他の有害物を含んではならない。</p> <p>4) クリアランス</p> <p>(1) 受注者は、灯器がある場合、30 cmのクリアランスを保持して施工しなければならない。</p> <p>(2) 受注者は、灯火用ケーブルがある場合、15 cmのクリアランスを保持して施工しなければならない。</p> <p>(3) 受注者は、コンクリート舗装の膨張目地、横収縮目地等がある場合、15 cmのクリアランスを保持して施工しなければならない。</p> <p>5) 受注者は、施工中連続して清掃を行わなければならない。また、滑走路の供用開始前に、監督職員に報告し、清掃完了の確認を受けなければならない。</p> <p>6) グルーピングの切削かすの処理は、設計図書の定めによる。</p> <p>7) 工事後にグルーピングを施工する場合には、表層のアスファルト混合物を施工してから 2 ヶ月以上経過した後に行うことを標準とする。ただし、表層に改質アスファルト混合物を用いる場合には、施工してから 7 日以上経過した後にグルーピングを施工することができる。</p>	用途区分	基本施設の表層			道路駐車場の表層		基 層	タイプ I	タイプ II	タイプ I	タイプ II	最大粒径	20	13	13F	13	13F	20	通過質量百分率(%)	26.5mm	100	—	—	—	100	19.0 mm	95~100	100	100	100	95~100	13.2 mm	75~90	95~100	95~100	95~100	70~90	4.75 mm	45~65	55~70	45~65	55~70	35~55	2.36 mm	35~50	35~50	30~45	35~50	20~35	600 μm	18~30	18~30	25~40	18~30	25~45	300 μm	10~21	10~21	20~40	10~21	16~33	150 μm	6~16	6~16	10~25	6~16	8~21	75 μm	4~8	4~8	8~12	4~8	6~11	2~7	<p>2-63</p> <p>2-64</p> <p>2-87</p> <p>2-88</p>	<p>空港土木施設設計要領（舗装設計編）改訂に伴う修正</p> <p>空港土木施設設計要領（舗装設計編）改訂に伴う修正</p>
用途区分		基本施設の表層			道路駐車場の表層			基 層																																																																																																																																															
	タイプ I	タイプ II	タイプ I	タイプ II																																																																																																																																																			
最大粒径	20	13	13F	13	13F	20																																																																																																																																																	
通過質量百分率(%)	26.5mm	100	—	—	—	100																																																																																																																																																	
	19.0 mm	95~100	100	100	100	95~100																																																																																																																																																	
	13.2 mm	75~90	95~100	95~100	95~100	70~90																																																																																																																																																	
	4.75 mm	45~65	55~70	45~65	55~70	35~55																																																																																																																																																	
	2.36 mm	35~50	35~50	30~45	35~50	20~35																																																																																																																																																	
	600 μm	18~30	18~30	25~40	18~30	25~45																																																																																																																																																	
	300 μm	10~21	10~21	20~40	10~21	16~33																																																																																																																																																	
	150 μm	6~16	6~16	10~25	6~16	8~21																																																																																																																																																	
75 μm	4~8	4~8	8~12	4~8	6~11	2~7																																																																																																																																																	
用途区分	基本施設の表層			道路駐車場の表層		基 層																																																																																																																																																	
	タイプ I	タイプ II	タイプ I	タイプ II																																																																																																																																																			
最大粒径	20	13	13F	13	13F	20																																																																																																																																																	
通過質量百分率(%)	26.5mm	100	—	—	—	100																																																																																																																																																	
	19.0 mm	95~100	100	100	100	95~100																																																																																																																																																	
	13.2 mm	75~90	95~100	95~100	95~100	70~90																																																																																																																																																	
	4.75 mm	45~65	55~70	45~65	55~70	35~55																																																																																																																																																	
	2.36 mm	35~50	35~50	30~45	35~50	20~35																																																																																																																																																	
	600 μm	18~30	18~30	25~40	18~30	25~45																																																																																																																																																	
	300 μm	10~21	10~21	20~40	10~21	16~33																																																																																																																																																	
	150 μm	6~16	6~16	10~25	6~16	8~21																																																																																																																																																	
75 μm	4~8	4~8	8~12	4~8	6~11	2~7																																																																																																																																																	